

地域を知ろう(27)

民話・伝説

No.7 六つ塚伝説

高円寺体育館周辺の 六つ塚伝説

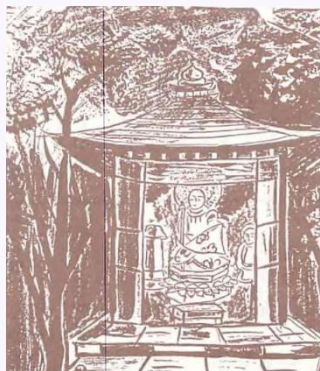
高円寺南二一
三六の区立高円
寺図書館

の周辺には六つ塚
伝説というのがあ
りました。

文明九年(一四七
七年)太田道灌の
部隊は、中野江古
田ヶ原で石神井城
主の豊島軍を討つ
て大勝を挙げ、豊
島は石神井城へ逃
込みました。し
か、逃げおくれた
党では石神井城に
つた者は石神井城
をめぐらして武蔵
の原野を彷徨しな
がら退却して、い
た敵探は、道灌の
残敵は、雑木林を
縫うようにして西
へ西へと落ち延び
ていた。豊島軍の
党は、ここでも追
いて来た部隊に追
いつかた。道灌は
なつた。道灌は、
また、文人也、あ
り、また、六人全
が、討ち取られた
て、六つ塚に落ち
武者を葬った墓だ

この六つ塚は今、
もうありません。
その位置も人々の
記憶から忘れられ
てしまっています。
現在高円寺図書館
があり、戦前の杉
三小学校の西、光
塩高女校の間あた
りにあったのは確
かにも、同型の塚
他に二、三あった
が、老は伝えたい
す。

大正時代、この
辺の土地整理をし
た時に、四・五基の
塚が取り壊され、
ボロボロに腐った
刀が十数本出土し
た。その作業の夫が
刀のツバや、金目
の物を酒代にした
と、いわれていま
家にも持ち帰り、
起す。起す。起す。
に叱られた。子供
を、下りた。処に
六つ塚の頃か、
それ、高円寺境内
の堂にも納まつて
ます。



六地藏塔



高円寺図書館から昔あった名取眼科方面を望む



高円寺図書館前にある教育委員会の看板